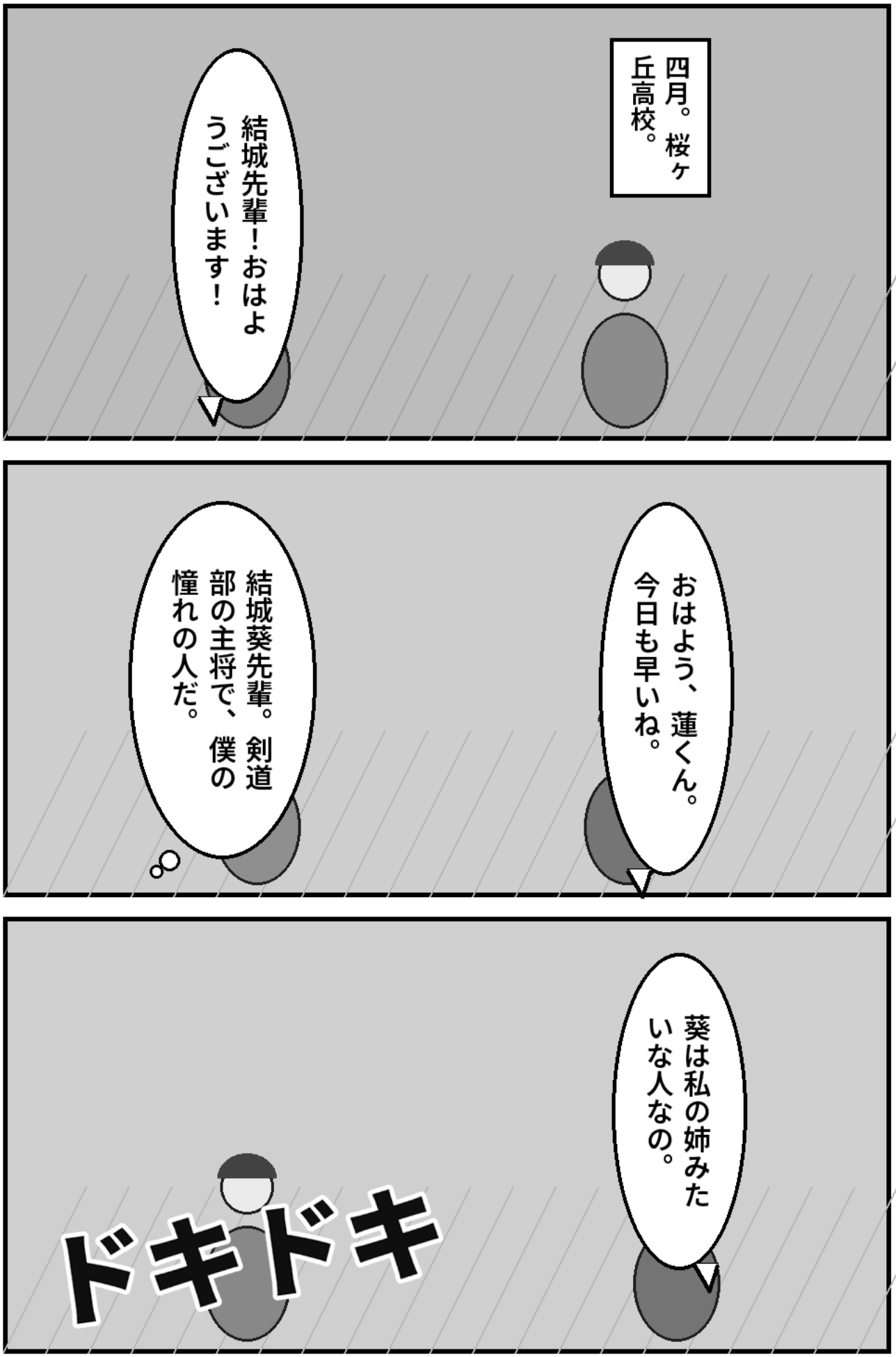
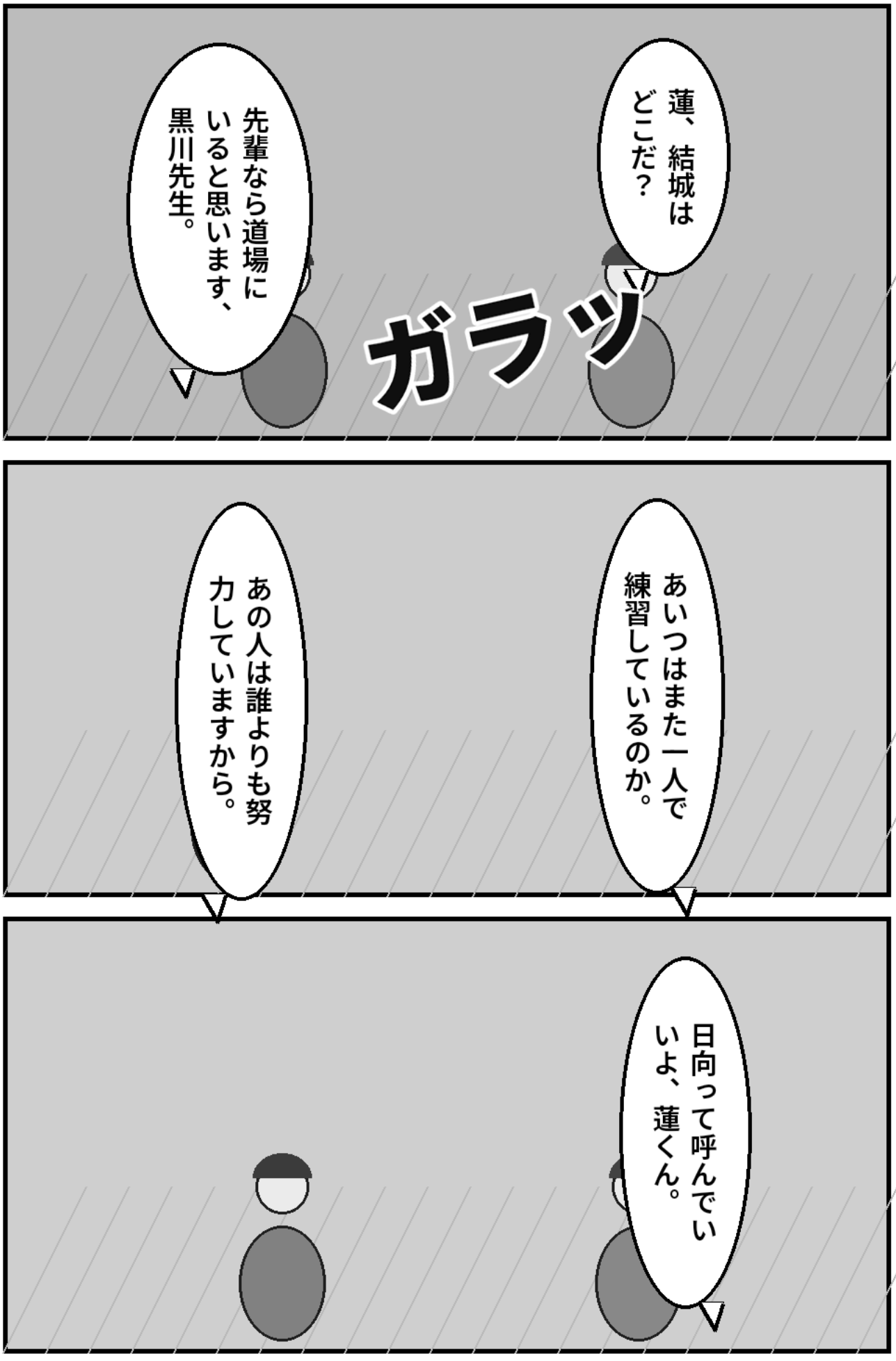
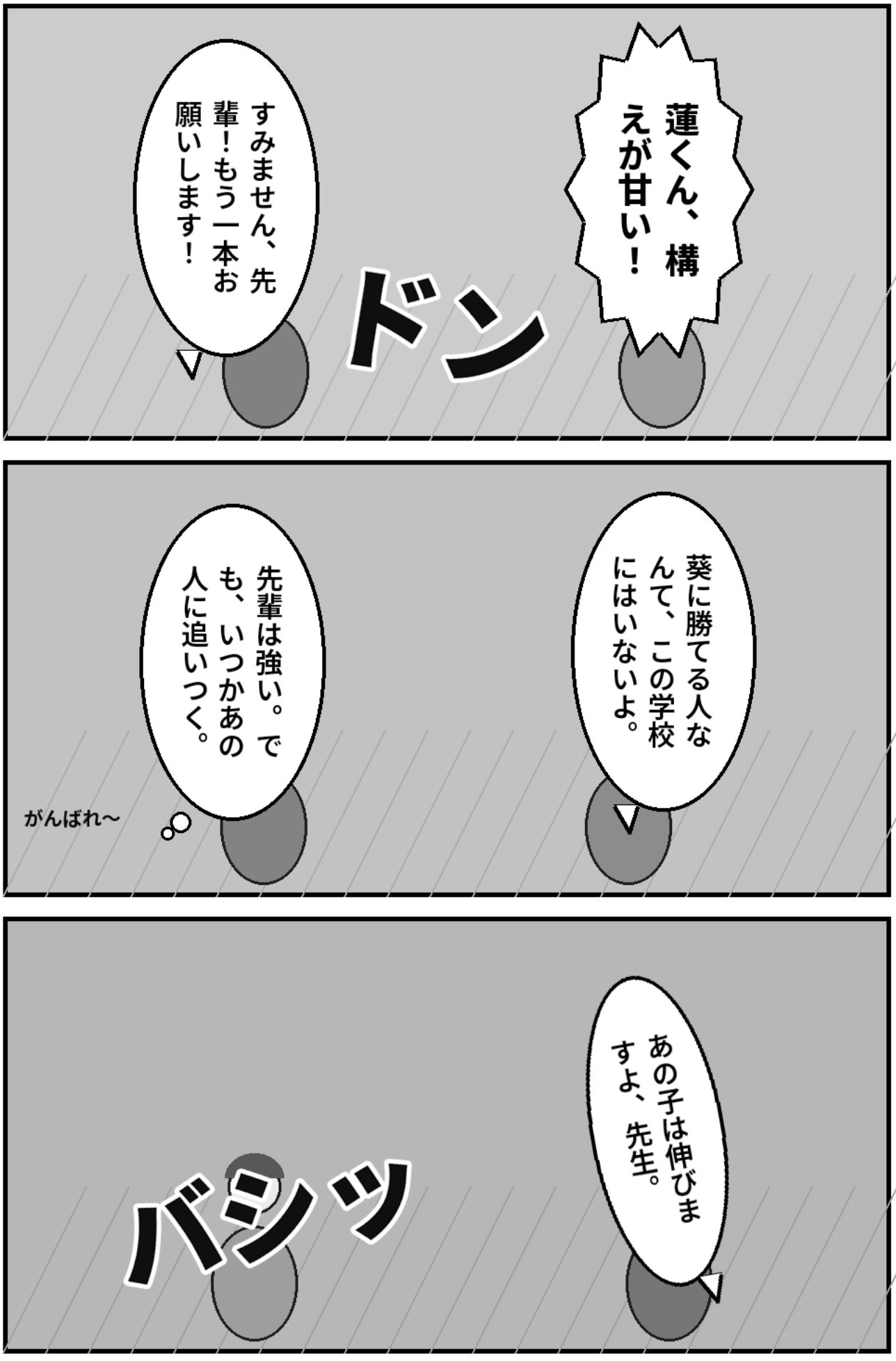
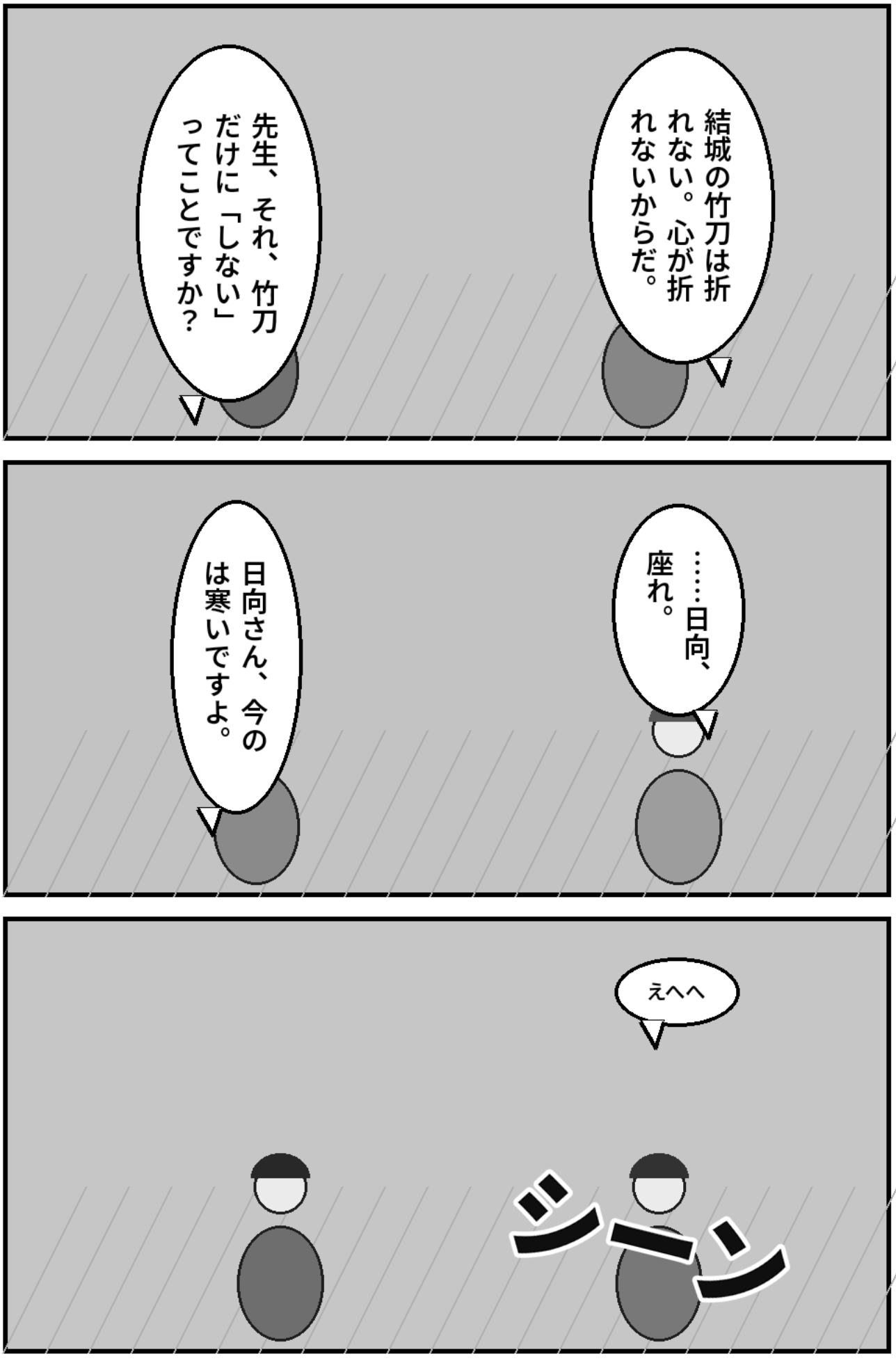
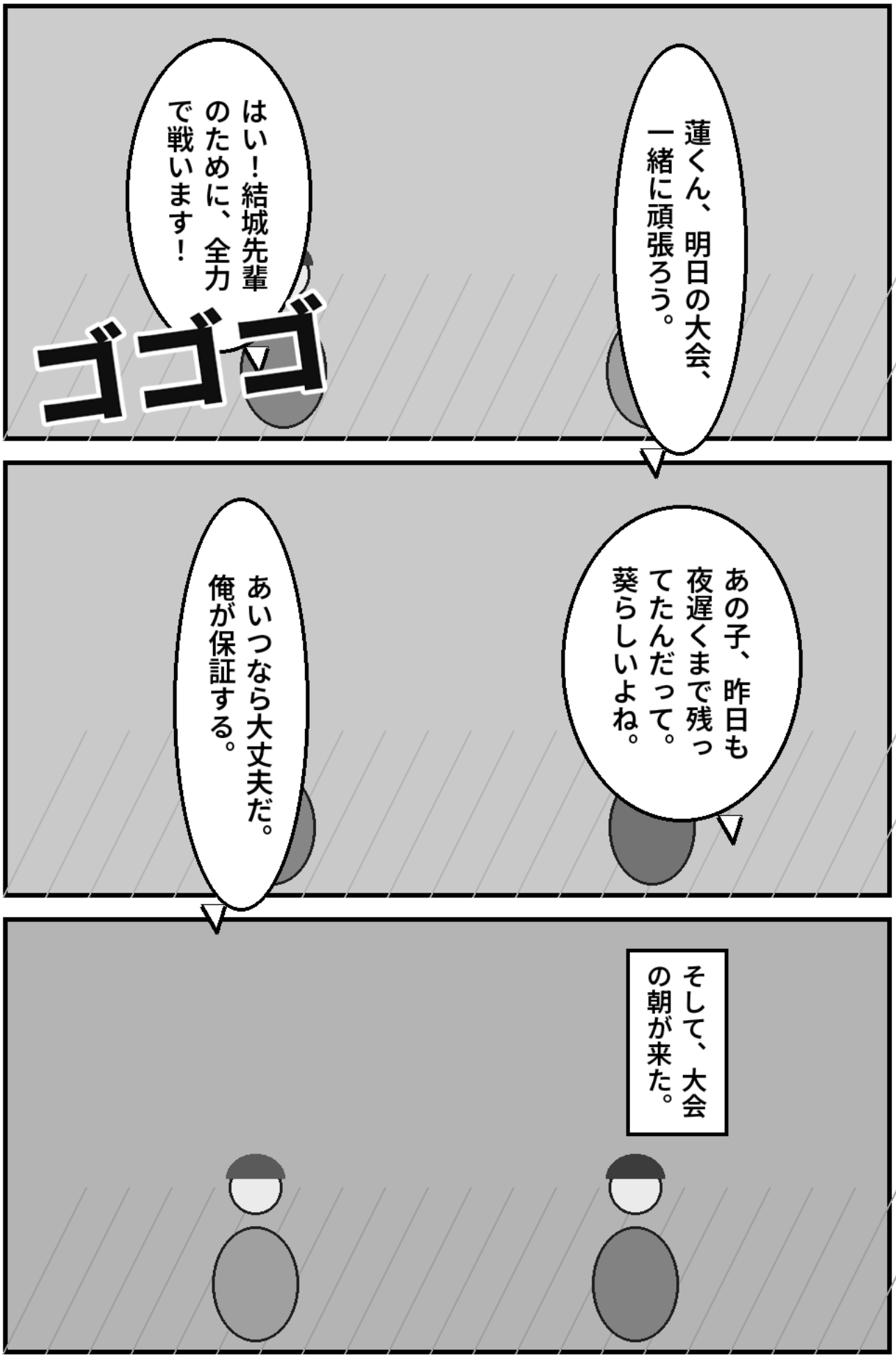

四月。桜ヶ丘高校。
結城先輩！おはようございます！
おはよう、蓮くん。今日も早いね。
結城葵先輩。剣道部の主将で、僕の憧れの人だ。
葵は私の姉みたいな人なの。
ドキドキ


蓮、結城はどこだ？
先輩なら道場にいると思います、黒川先生。
ガラッ
あいつはまた一人で練習しているのか。
あの人は誰よりも努力していますから。
日向って呼んでいいよ、蓮くん。


蓮くん、構えが甘い！
ドン
すみません、先輩！もう一本お願いします！
葵に勝てる人なんて、この学校にはいないよ。
先輩は強い。でも、いつかあの人に追いつく。
がんばれ〜
あの子は伸びますよ、先生。
バシッ


結城の竹刀は折れない。心が折れないからだ。
先生、それ、竹刀だけに「しない」ってことですか？
……日向、座れ。
日向さん、今のは寒いですよ。
えへへ
ジーン


蓮くん、明日の大会、一緒に頑張ろう。
はい！結城先輩のために、全力で戦います！
ゴゴゴ
あの子、昨日も夜遅くまで残ってたんだって。葵らしいよね。
あいつなら大丈夫だ。俺が保証する。
そして、大会の朝が来た。